
ピカチュウはポケモンマスターになりたいようだ

雨林檜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ピカチュウはポケモンマスターになりたいようだ

【Nコード】

N8338S

【作者名】

雨林檎

【あらすじ】

ピカチュウはポケモントレーナーに憧れた

ピカチュウはポケモンマスターになりたいようだ

この小説の元ネタ知ってる人もいるかもしれませんがね。スピアー「
何い！？ お前ポケモンマスターになるって本気か！？」

ピカチュウ「本気も本気だよ。僕はもう引き下がらないよ！」

コクーン「だけどポケモンがトレーナーしてるなんて話聞いた事ね
えぞ……」

ピカチュウ「前例がないなら作れば良いだけじゃん！」

キヤタピー「で、でもどうして急にトレーナーになるの？」

ピカチュウ「だってあの伝説のトレーナーレッドの様に僕もなりた
いんだ！」

スピアー「確かにレッドは凄いやけどよ……」

バタフリー「ああもう、ちょっとは快く送り出そうって気はないの
！？」

スピアー「何い！？ お前ポケモンマスターになるって本気か！？」

ピカチュウ「本気も本気だよ。僕はもう引き下がらないよ！」

コクーン「だけどポケモンがトレーナーしてるなんて話聞いた事ね
えぞ……」

ピカチュウ「前例がないなら作れば良いだけじゃん！」

キヤタピー「で、でもどうして急にトレーナーになるの？」

ピカチュウ「だってあの伝説のトレーナーレッドの様に僕もなりたいんだ！」

スピアー「確かにレッドは凄いけどよ……」

バタフリー「ああもう、ちょっとは早く送り出そうって気はないの！？」

スピアー「あのなあ俺はピカチュウの事が心配だから言ってるんだよ！」

バタフリー「心配し過ぎよ！ 私の眠り粉で少し大人しくなれば？」

スピアー「誰がお前なんか眠らされるか！ お前なんか俺の針で串刺しに出来るんだからな！」

ピカチュウ父「まあまあ喧嘩はやめなさい。……で息子よ。本当にポケモンマスターになりたいと言っただな？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8338s/>

ピカチュウはポケモンマスターになりたいようだ

2011年10月9日00時56分発行